

Title	大阪大学歯学雑誌 第63巻2号 目次
Author(s)	
Citation	大阪大学歯学雑誌. 63(2)
Issue Date	2019-04
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/73671
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

大阪大学歯学雑誌

The Journal of Osaka University Dental Society

April 2019 Vol.**63** No.**2**

大阪大学歯学会

The Osaka University Dental Society
OSAKA JAPAN

大阪大学歯学雑誌

Vol. 63 No. 2

Contents

規 定

2019 年度 大阪大学歯学会 優秀研究奨励賞 規定

2019 年度 大阪大学歯学会 優秀海外発表大学院生奨励賞 公募要項

総 説

アタッチメントが上顎インプラントオーバーデンチャーの

インプラントに及ぼす影響

ーボール, ロケーター, マグネットアタッチメントにおける比較ー ————— 高 橋 利 士 (他 3 名) 1

In vitro 実験と数理科学の融合に基づく修復材料の高性能化の試み ————— 山 口 哲 7

症例報告

下顎深在性埋伏智歯に対して第二大臼歯の

意図的再植術を併用した抜去術の 2 例 ————— 藤 田 祐 生 (他 5 名) 11

Information

会務報告 ————— 17

大阪大学歯学会会則 ————— 23

デジタルデータ出稿の詳細 ————— 26

引用文献の表記ルール ————— 26

歯学会雑誌原稿投稿時のセルフチェックシート — 27

誓 約 書 ————— 28

教室研究紹介

大阪大学歯学部附属病院

口腔総合診療部 (顎口腔総合医療学) ————— 29

表紙のことば

【Enamel-Dentin Junction の透過電子顕微鏡像】 歯質と材料 (接着材) の界面を観察し続けた夜中、ふと視野を移動させて撮影した一枚。最上部はエナメル質、最下部は象牙質であるがその境界は明瞭ではない。結合状態は機械的に強固である一方、う蝕はこの部分で広がる。その理由として Junction 部に MMPs (Matrix Metalloproteinases) が多量に存在することが報告されており、MMPs は酸性下で活性化され、象牙質中のコラーゲン線維を加水分解する。
(歯科補綴学第一教室)

規 定

平成 30 年度 大阪大学歯学会 優秀研究奨励賞 規定

平成 30 年度 大阪大学歯学会 優秀海外発表大学院生奨励賞 公募要項

総 説

Streptococcus mutans の歯髄組織への定着における

菌体表層コラーゲン結合タンパクの影響 ————— 鋸 屋 侑布子 (他 2 名) 1

Advanced statistical analyses to reduce inconsistency of bond strength data ——— 南 野 卓 也 (他 10 名) 5

症例報告

両側第二大臼歯の鉗状咬合と上下前歯部の唇側傾斜を認める,

骨格性上顎前突の一治験例 ————— 八 木 弘 子 (他 1 名) 9

Information

会務報告 ————— 15

大阪大学歯学会会則 ————— 21

デジタルデータ出稿の詳細 ————— 24

引用文献の表記ルール ————— 24

歯学会雑誌原稿投稿時のセルフチェックシート — 25

誓 約 書 ————— 26

教室研究紹介

大阪大学大学院歯学研究科 歯科麻酔学教室 ————— 27